

2024年10月24日

寄附講義レポート③

記：平野、松野

1. 日 時：2024年10月24日（木）13：10～16：20
2. 講 師：大棟 有希子様（56期）三井住友海上火災保険(株) 和歌山支店・和歌山支社 課長
補助：刀根 志織様（67期）和歌山支店・和歌山支社 主任
3. 受講生：53名
4. 講義項目：
 - (1)保険の概要、損害保険会社の役割と体制について
 - (2)三井住友海上火災保険(株)の概要、和歌山支店の概要について
 - (3)ワークショップ（多様なリスクについて考える）
 - (4)対話形式（就職活動、キャリア形成、働き方改革）
 - (5)小テスト（理解度の確認）
5. 講義内容：
 - (1)前半は講義形式で「保険の概要（歴史・仕組み）、損害保険会社の役割と体制（営業・損害サポート・本社）についての説明」（25分）の後、「三井住友海上火災保険及び和歌山支店の現状と今後の課題・展望についての詳細な説明（40分）があった。
 - (2)後半は「リスク対策」を課題とした1チーム4名でのワークショップ（50分）が実施された。
テーマ①「大学内での災害リスクを考える⇒災害の状況・影響、その対策を考える」
テーマ②「社会環境の変化に伴う新しいリスクを考える⇒人の意識・社会の変化や新技術（AI, 自動化）導入によるリスク、その対策を考える」
① 個人ワーク（5分）→②グループワーク（15分）→③全体発表（数チーム）：2回
最後に「就職活動（業界を選んだ理由、会社を決めた理由等）、社内におけるキャリア形成体験や進行形の働き方改革の実態、やりがい・モチベーションの考え方等」について、大棟さんと刀根さんの対話形式による総括説明（20分）があった。
 - (3)小テスト（理解度の確認）30分で終了。①保険に関する基本事項の穴埋め問題（4問）
②リスクを1つ特定し、選択理由とそのリスク対策としてどんな保険があればよいか
③この講義を踏まえて、損害保険業界に対する自分自身のイメージ変化について
6. 感 想（平野）
 - (1)今後の就職活動では次の4点が重要である。
 - ①自己分析・他己分析（適性・能力）、②OB・OG訪問をできるだけ行う
 - ③自分が興味のない業界の会社説明会にも行ってみる、④前向き・明るさ・やる気・素直さ

- (2)「仕事でのやりがい・モチベーション」について①成果・自己成長・社会貢献を実感するとき、②後輩社員の成果や成長を実感するときと卒業生2名が共に説明したことは良かった。
- (3)卒業生の大棟さん、刀根さんの就職活動、社内のキャリア形成や働き方改革の実態を聴くことができ充実した講義であった。

感想 (松野)

- (1)冒頭の大棟さんの説明は、損害保険の歴史、14世紀古代ギリシャから始まった。そして1666年産業革命の頃火災保険が発生した。次に日本の保険は幕末の頃に始まったという。保険の概要、損害保険会社の役割と体制についての項目で、ヨーロッパ、しかも14世紀は聴講者もびっくりしたと思う。講義の掴みの話として面白かった。
- (2)三井住友海上火災保険(株)の概要、和歌山支店の概要についての説明は本講座の軸になる部分なので、講師の大棟さんの流暢で明快な説明が理解しやすかった。大棟さんは、教育学部のご出身で、2008年に入社され、保険会社でのキャリアも十分で、説得力抜群の印象でした。
- (3)後半のワークショップでは①大学内での災害リスクを考えその影響、対策を考え、代表者がプレゼンする形式で、さすがに現在の学生の身近なテーマを現実的に考える姿勢がどの発表チームにも徹底されていた。
- ②社会環境の変化に伴う新しいリスクを考えるでは、デジタル化の影響、AIの利用、ビッグデータの話など講師の問題設定が現在にマッチしていて、講座を興味深くさせる工夫が盛りだくさんでした。
- (4)最後の就職活動、(業界を選んだ理由、会社を決めた理由等)については、大棟さん(先輩)と補助の刀根さん(後輩)との対話形式で進められ、従来の同テーマの説明とは少し変わった視点で説明されたのが新鮮だった。

以上

